

総合的な学習の時間
福祉体験事前学習
「手話で話をしてみよう！」（手話体験）

相模原市立弥栄中学校

単元（題材）目標

- 社会に生き、社会を支える一員として、他者の立場になって自分ができることを考え、他者との望ましい相互理解の関係を学ぶ機会とする。
- 障がいのある方々の声を実際に聞き、その生活を知り、社会に生きる中での大変さを肌で感じる体験を通して、「共生」の心を育む機会とする。
- 手話によるコミュニケーションの大変さを体験することを通して、障がいのある人の気持ちを理解する。

（１）実施時期

6月2日（木）

（２）対象（学年等・人数）

第2学年 223名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第2学年所属 6名

（４）実施内容

福祉体験学習の事前学習として実施

- ①VTR視聴（学年全体）「みんなともだち手話イチ・ニッ・サン」
 - ・各学級で視聴しながら手話についての基本的な内容を学ぶ
- ②手話に親しむ
 - ・自分の名前の表し方、
 - ・簡単な会話（自己紹介、あいさつ）
 - ・指文字による五十音の表し方

（５）成果

- VTR視聴と手話体験をとおして、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。
- 実施後も手話の挨拶や手話を使ったコミュニケーションをするなど、手話について興味を高めるとともに、事後の福祉体験への関心を高めることができた。
- 手話の大切さを理解し、少しでも自分たちのできることはないか考えるきっかけになった。

（６）その他

本時学習後の6月23日（木）に社会福祉協議会の協力者の協力を得て、視覚障がい者にかかわる体験活動や車いす体験等を実施した。